

こんにちは 皆野町議会です！

みんなのまち 議会だより

埼玉県皆野町議会

第8号

平成25年12月定例会
2014年2月1日発行



任期の半分を迎え 新たな決意

P.2

12月定例会報告

P.4

町に聞きました

5名の議員が一般質問

P.5



みんなの
みんなのまち議会

委員会からの報告

P.8

表紙シリーズ **みんなの新観光スポット**

「皇鈴山より町内を展望」

標高679メートル、ここには、
昭和17年最高栄誉である「馬酔木賞」を
受賞した、持田紫水の句碑。

5月上旬には山つつじの開花を
見ることができます。



時計回りで、議席順になっています。



こすぎしゅういち
小杉修一
産業建設常任委員会 副委員長
皆野・長瀬上下水道組合議会議員

「美しいみんなのまちに風をよぶ」郷土創造の理念で、希望のまちづくりに、より一層気合いを入れて取り組んでいます。



みやまえ まもる
宮前 司
産業建設常任委員会 委員／皆野・長瀬上下水道組合議会議員

みんなのみんなの皆様の声を町政に届けます。安全で安心して暮らせる皆野町を目指してまいります。



つねやまともこ
常山知子
総務教育厚生常任委員会 副委員長／皆野・長瀬上下水道組合議会議員／議会だより編集委員会委員

皆さんからお寄せいただいた切実な要望やご意見を町政へ届け、住みよいまちづくりのために、さらに努力してまいります。



わかばやしみつお
若林光雄
総務教育厚生常任委員会 委員／議会運営委員会 副委員長

議会議員として、皆様との対話の中で2年が経過しました。初志貫徹、「安心・安全な町づくり」を積極的に努力し推進します。



おおさわきんさく
大澤金作
総務教育厚生常任委員会 委員／皆野・長瀬上下水道組合議会議員

安全で安心して暮らせる住みよい、災害に強いまちづくり、自然を生かした観光の推進、有害鳥獣の対策に一層努力してまいります。



あらいたつお
新井達男
総務教育厚生常任委員会 委員長／議会運営委員会 委員／議会だより編集委員会委員

町民の方々の目線で意見を聞き、行動することの基本とし、うるおいのあるまちづくりに努力します。



議員一同、新たな決意で

任期の半分を迎え

私たち、議会事務局もよろしくお願ひします。

うちかいかつお
内海勝男
産業建設常任委員会 委員／議会運営委員会 委員／議会だより編集委員会 委員長



少子・高齢化、人口減少に歯止めをかけ、「希望や明るさ」のもてる「安全・安心・平和」なまちづくりに向け努力したい。

よもだみのる
四方田 実
議会運営委員会 委員長／総務教育厚生常任委員会 委員／秩父広域市町村圏組合議会議員



地方議会では、通年議会の導入が進みつつあります。委員会活動や議会としての、幅広い活動をめざし、通年議会の研究をしたいと思ひます。

はやし ゆたか
林 豊
産業建設常任委員会 委員長／議会運営委員会 委員／議会だより編集委員会 委員



町民の声をしっかりと受けとめると同時に、開かれた町政、開かれた議会を目指して、できる限りの情報発信に努めていきたいと考えています。



議会事務局長
吉橋守夫

おおさわみちこ
大澤径子
議長
総務教育厚生常任委員会 委員




議会事務局
大沼恵理子

おおのよしあき
大野喜明
副議長／産業建設常任委員会 委員／議会運営委員会 委員／秩父広域市町村圏組合議会議員／議会だより編集委員会 委員



皆野町に住んでよかったと思つまちづくり、そして市・町の枠を超えた広域的な魅力ある秩父地域づくりを目指してまいります。

あらいやすお
新井康夫
産業建設常任委員会 委員／議会選出監査委員 議会だより編集委員会 副委員長



今後是非非をこらぬき、町民派として議員の責務を果たします。そして議会不要論を言わないよう努力してまいります。

「新年のごあいさつ」 皆野町議会議長 大澤径子

改選から2年、『議会だより』発行の効果か、議会を傍聴する方が増え議員一同心より感謝申し上げます。議員一人ひとりが確かな信念を持ち、議会だけでなくさまざまな場面で自由闊達な意見交換ができたことは、皆野町議会にとり何より意義のあることだと思つています。

サーベラスによる『西武秩父線廃止』の危機は私たちに大きな衝撃を与えましたが、それと同時に秩父地域の議員の皆様とともに考え行動するチャンスをも与えてくれました。研修や交流会を通じて、今まで以上に協力できる体制が整ってきました。『定住自立圏構想』締結から3年経過しましたが、これからも『水道事業』をはじめ、広域的に取り組むことで成果を生むことが期待されています。

残された任期を議会一丸となり『町民の暮らしを守る』ために真摯に取り組んでまいります。

みなのもち議会だより

平成26年2月1日発行

平成25年度
補正予算可決

3件の意見書を可決・提出

皆野町議会第4回定例会は昨年12月12日に開催され、平成25年度一般会計補正予算など11件の町長提出議案を慎重審議し、すべて可決・同意しました。請願第1号・第3号については採択し、議員発議を行い政府へ意見書を提出、要望第2号も同様に採択し、議員発議を行い国会と政府へ意見書を提出しました。また、一般質問では5名の議員が登壇し、活発な議論を行いました。

平成25年度 補正予算の内訳

一般会計 (第3号)	既定の予算総額に歳入歳出 それぞれ3842万円 増額	総額 42億4197万円
国民健康保険 特別会計 (第2号)	既定の予算総額に歳入歳出 それぞれ4328万円 増額	総額 13億7794万円
介護保険 特別会計 (第2号)	既定の予算総額に歳入歳出 それぞれ294万円 減額	総額 10億1257万円

新聞等への消費税の低減 税率適用を求める意見書

消費税増税がこのまま行われれば、地域経済の悪化や国民生活を苦しめるだけでなく、消費者意識に悪影響を及ぼすことから、国民生活を守り地域経済の安定を図る上からも新聞に限らず書物や食料品をはじめ、最低限の生活必需品を含めた軽減税率により、文化的な生活水準の維持と公平性を求める意見書の提出です。

森林・林業・木材関連産業政策の推進を求める意見書

山の現状、その対策、処置の遅れを少しでも解消できるように予算措置を求める意見書の提出です。

道州制導入に断固反対する意見書

数年前の平成の大合併によって、心都市やインフラ整備が整った中心地域に人・物・金が一極集中し、地域間の格差は益々拡大しました。こうした中、政府においては、道州制推進基本法案提出の動きがあります。こうした道州制が導入された場合、ほとんどの町村においては、事実上の強制合併が余儀なくされます。今行うべきことは、多様な自治体の存在を認め、地域の自主性・自立性を高めることを主眼とする地方分権改革を積極的かつ着実に進めることであり、道州制導入に断固反対する意見書の提出です。

町に聞きました「一般質問」

平成 25 年 12 月定例会で審議された議案		審議結果
町長提出議案	平成 25 年度皆野町一般会計補正予算（第 3 号）	原案可決
	〃 国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
	〃 介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
	皆野町公平委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	皆野町税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	皆野町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	皆野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	皆野町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	公平委員会委員の選任について	原案同意
	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意
請願・要望・発議	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意
	新聞への消費税の低減税率適用を求める意見書提出を求める請願	採 択
	「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」に関する請願書	委員会付託
	森林・林業・木材関連産業政策の推進を求める請願	採 択
	道州制推進基本法案に反対する意見書の提出について要請	採 択
	新聞等への消費税の低減税率適用を求める意見書	原案可決
	森林・林業・木材関連産業政策の推進に関する意見書	原案可決
	道州制導入に断固反対する意見書	原案可決

小杉修一議員が問う

少子化対策とまちづくりについて

質 問 当町においては、ここに来て少子化の傾向が一段と強まっていると見受けられますが、町の将来を考えると、もはや抜本的対策が急務であり、特に若い人たちに向けたまちづくりの構想をお聞かせ願いたい。

答 弁 少子化の問題は、全国的に構造的にも大変難しい問題であるが、国の方針に則して当町でも子ども子育て支援会議を発足いたします。また、来年度から、子育て家族等の住宅取得に対する補助制度を創設し、少子化の進行の抑制を図ります。

質 問 住宅を建てて町に住んでくれる若い人たちの現状は、職場を寄居や美里、あるいはもつと離れた所に求めざるを得なくなっております。遠方への通勤等を考慮し、この際、皆野寄居バイパス通行料金の引き下げを関係方面に強く働きかけてもらいたいと考えています。

次に、秩父地域全体の課題ではあるが、産科の病院が一施設しかない現状に対しての見直し等をお聞かせ願いたい。

答 弁 産科は医師を含め大勢のスタッフを要するので、皆野病院においても難しいようです。秩父医療協議会を中核として、秩父地域1市4町でこの問題に懸命に取り組んでいきたいと思います。



料金の引き下げが求められる有料道路

常山知子議員が問う

皆野町の危機管理について

質問 いつ起こるかわからない災害に備え、危機管理をしっかりとしておく必要があります。どのような対策をとっていますか。

答弁 町民への土砂災害、警戒区域等の周知については「地震ハザードマップ保存版」を配布、毎年9月の広報で災害時に備えるお知らせをしています。

質問 避難指示が出された場合、避難が困難な人もふえています。あらゆる事態を想定し、職員が組織的に対応する体制ができていますか。

答弁 「待機・初動・警戒体制」「緊急体制」「非常体制」の3段階の体制について、各職員の役割分担



過去に起こった台風による災害

ができています。

お出かけタクシーについて

質問 利用条件のバス停から1キロメートル以上離れている制限を外す考えはありませんか。8カ月の利用状況を見ても、今年度の利用金額は100万円以内です。制限をとった場合でも、今年度の予算（660万円）と同じで十分足りません。

答弁 基本的には、現行の制度・目的に沿って、助成対象地区や対象者は大幅に見直すことなく続ける考えです。

質問 公共交通対策会議を立ち上げ、町民の声を聞き気軽に安い料金で外出できる、町の活性化ができるような公共交通を考えていく必要があります。町の考えは。

答弁 現在、立ち上げる考えはありません。

若林光雄議員が問う

町の活性化策について

質問 皆野町原区商店街の活性化として、秩父音頭家元の旧家を観光の目玉にと、町民より提案があったと聞きました。家元の状況を確認され、その結果どのような状況であったか。また、具体的活用をどのように考えていますか。

答弁 金子家の活用には、所有者も同調しています。今後の活用方法については、観光協会・商工会・原町商店街の皆様、また、必要に応じてまちおこしの専門家と相談・検討をします。大きな予算も必要であり、難しい状況もあります。まちおこしに熱心な方々との検討を慎重に進め、見通しが得られれば、具体的な調査費等予算化を考えます。

防犯カメラ設置について

質問 安心・安全なまちづくりとして、防犯カメラの設



活性化が求められている原区商店街

置が必要と考えます。児童・生徒の通学をはじめ、犯罪防止のための予算措置、今後の方針を伺いたいと思います。

答弁 今年度、商工会にて150基の街路灯が改修され、その中で、3基の防犯カメラが計画され、来年1月末に設置されます。当町においても、即設置はできないが、今後設置について検討します。

林 豊議員が問う

農山村具展示館について

質問 昨年より、展示物の整理と不定期ではあるが展示館の公開をしているようだが、以前のように、常時公開の復活を考えているのか。

答弁 条例によって廃止したものであり、再度条例制定し、開館する考えはありません。

質問 町民の声を受けとめ、即時対応できる「すぐやる課」のようなものが設置できないか。

答弁 各窓口ではわかりやすく丁寧な対応をしているつもりだが、言われることも理解できるので、より迅速に、正確に、気持ちよくを基本に内部で検討します。

質問 来年度の主要施策について、視察した長生村（千葉県）の実施している「当初予算について議会前の全員協議会等での検討」を実施する考えはないか。



立派な建物ですが…

答弁 予算を議会への上程前に議会に対して説明する考えはありません。

内海勝男議員が問う

土京溪谷の整備について

質問 三沢川下流の通称「土京溪谷」は、谷川の深さ、清流を包む岩肌、そして兩岸からの木々と、四季を通じての景観も素晴らしい場所です。

通称「岩戸橋」からのビューポイントなど、数カ所を写真におさめ、宣伝されている方もおられます。

「道の駅みな」にも近く、観光での活用や町民の「癒しや憩い」の場所として整備する価値は十分あると考えます。町長の考えをお聞きしたい。



整備が望まれる「土京溪谷」

答弁 「道の駅」に寄られた方にも、近くて気軽に訪れることができる「癒しの溪流スポット」として楽しんでいただけるよう考えていきたい。

具体的には、地権者の承諾を得て、立ち枯れた木や竹の除去、四季を感じさせる植栽の実施、「道の駅」から現地までの観光案内板も設置していきたい。

「遊歩道」の整備は、危険箇所もあり、今後の課題としたい。

委員会から報告します！

廃校の跡地利用を視察

総務教育厚生常任委員会
委員長 新井達男

平成25年
10月2日～3日 栃木県塩谷町・高根沢町を視察

栃木県塩谷町「星降る学校」は、昭和10年に建てられた平屋建て木造校舎で、平成11年3月に閉校、その後、町と地域振興を図るために地元有志との話し合いを設け、地元の人達、都市、農村の交流の場として利用していました。

栃木県高根沢町は米どころとして知られていますが、近年都市的な開発が進み環境問題が浮上。平成12年「高根沢ビレッジセンター」を創設し、ここを起点として各種団体による地球、自然、生活環境に関連した講演・イベント等を開催、参加者は年齢を問わず子どもから大人まで徹底した循環型社会を目指していました。



塩谷町「星降る学校」

若者定住の取り組みを視察

産業建設常任委員会
委員長 林 豊

平成25年
10月10日～11日 長野県飯田市・下條村を視察

飯田市のラウンドアバウト＝円形交差点は、皆野町内市街地部への大型車の侵入の抑制の一助になればと考えていました。しかし、飯田市の長期にわたる取り組み等を聞き、しっかりしたプランを立て、粘り強く交渉をしていかなば実現は難しいと感じました。

下條村は「若者定住の取り組み」がテーマでした。施策の内容もさることながら、村全体からモチベーションの高さを強く感じました。若者の望む集合住宅をつくり、安価で提供することに感心させられました。

また、道の駅内の売店の老夫婦が「村がつくってくれた店の建築費を自分たちの売り上げで賄うんだ」と言っていた言葉が印象的でした。



飯田市の円形交差点

発行：埼玉県皆野町議会
編集：議会だより編集委員会
TEL 0494-62-1467 Fax 0494-62-2791
gikai@town.minano.saitama.jp
〒369-1492 埼玉県秩父郡皆野町大字皆野 1420-1

編集後記

節分には柗の枝に鰯の頭を刺し、戸口（玄関）の外に立て、夕刻にはどの家からも主と子どもの「福は内、鬼は外」の音が聞こえたものです。今どき皆様のご家庭はどうされているのでしょうか。わが家は抑えた声でやっています。さて、皆野町議会は議会改革を推進すべく、その先進地を視察研修してまいりました。議員の任期も半ばを迎えた今、さらに開かれた議会、わかる議会に、そして「議会だより」も研鑽に努め、スキルアップしてまいります。（Y・O）

議会だより編集委員会「私たちが編集しています！」

委員長 内海勝男 副委員長 新井康夫
委員 林 豊・大野喜明・新井達男・常山知子

ご意見
募集します！

町民の皆様より、議会だよりに関するご意見を募集いたします。



(FAX) 0494-62-2791

(メール) gikai@town.minano.saitama.jp

議会事務局へ
ファックス
または
メールにて

次の議会は

3月中旬頃に
開催の予定です。

傍聴、お待ち
しています

